

社会情報デザイン学部

教育研究上の目的

社会情報デザイン学部は、建学の精神に基づき、社会学を中核とし、身近な生活世界から複雑な社会に対する自発的な関心を喚起するところからはじめ、変化する現代社会を対象化・相対化して理解・解明し、さらにこれからの社会のあり方について構想、提言、創造する力を備えた人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

社会情報デザイン学部は、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 社会学を中核として社会科学と情報技術を含めた基本的な知識や技術を備え、社会について深く理解する力がある者
2. 柔軟な発想で課題を捉え、他者と協働して解決に取り組む力がある者

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

社会情報デザイン学部では、「共通科目」のほか専門科目として、「学部基礎科目」、「企画構想ラボ」、「社会実習科目群」、「領域科目群」、「演習・卒業研究」の大きく5つの区分にそれぞれ小区分を設けて科目を配置している。

以下の方針に基づいて科目を配置するものとする。

1. 社会を広く捉えて、専門の学びを深める
2. 課題解決や社会への提案の実践的能力を修得する
3. 学生の個性に合わせ横断的に選択履修の幅をもたせ専門的な深い理解や技術の力を養う
4. キャンパスにおける学びと社会での経験の連続性を確保し、実社会の体験を通じ現代社会の理解を深める
5. きめ細かな指導により、専門性の深化、各領域の融合を実現する力を養う

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

社会情報デザイン学部では、次のような学生を求める。

1. 社会に関心を持ち、深く理解しようとする人
2. 情報社会に続く新たな社会に積極的に参画する意思がある人

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 現代社会に対する関心と基本的な知識
2. 情報を正確に理解・読解する力
3. 課題を追求する力

②思考力・判断力・表現力

1. 論理的に思考する力
2. 文章表現力と対話能力
3. 課題解決能力

③主体性・多様性・協働性

1. チームにおいて主体性をもって行動する力
2. チームにおいて他者を理解し他者と協働する力
3. 多様な価値観に対する柔軟な姿勢